

# 大阪市立伝法小学校 校歌

和田喜衛 作詞  
目賀田萬世吉 作曲

一、淀の川辺を見渡せば  
繁きよしあし こぎわけて  
上る白帆の かずかずに  
希望の風も かようなり

二、ちぬの浦わの浦づたい  
あしたもゆうべも 休みなく  
鳴くや千鳥の とりどりに  
はげみの声も 聞こゆなり

三、昔伝えし法のあと  
里の名にさえ 残るなり  
心つくして 日に月に  
教への道を 進まん

校歌の歌詞は、本校の大先輩和田喜衛氏（明治二年生まれ、昭和三十年十二月三日歿）、作曲は、当時の大阪府師範学校（現大阪教育大学）教諭目賀田萬世吉氏（慶応三年七月三日生まれ、昭和五年七月十三日歿）による。明治四十一年三月の卒業式において初めて斉唱され、以後在校生に愛唱され、今日にいたっている。

## 大阪市立伝法小学校 創立150周年記念式典



令和5年2月25日(土)  
開式 午前10時30分  
大阪市立伝法小学校

## 式次第

- 1、開式の言葉
- 2、国歌斉唱
- 3、大阪市歌斉唱
- 4、学校長式辞
- 5、記念事業委員長挨拶
- 6、記念事業委員顧問挨拶
- 7、PTA会長挨拶
- 8、祝電披露
- 9、記念品授与
- 10、児童お祝いの言葉
- 11、校歌斉唱
- 12、閉式の言葉



## 国歌

君が代は 千代に八千代に さざれ石の  
 巖となりて 苔のむすまで

## 大阪市歌

- 一、高津の宮の昔より  
 よよの栄を重ねきて  
 民のかまどに立つ煙  
 にぎわいまさる 大阪市  
 にぎわいまさる 大阪市
- 二、なにわの春のあさぼらけ  
 生氣ちまたにみなぎりて  
 物みな動くなりわいの  
 力ぞ強き 大阪市  
 力ぞ強き 大阪市
- 三、東洋一の商工地  
 咲くやこの花さきがけて  
 よもに香りを送るべき  
 務ぞ重き 大阪市  
 務ぞ重き 大阪市